

1.食と観光を担う生産空間の維持・発展と人が輝く地域社会の実現

○分散型国づくりを先導する交通ネットワークの整備

道央都市圏と農村地域など生産空間や各地域の中心都市とのアクセス強化を図り、「人流・物流の拡大」や「地域・拠点間の連携」を推進するため、「道央圏連絡道路」をはじめ、「国道5号創成川通」、「国道275号江別北道路」などの事業を推進します。

〈高規格道路〉道央圏連絡道路 中樹林道路【令和6年度全線開通予定】
〈一般国道〉国道275号 江別北道路【令和5年度全線開通予定】



道央圏連絡道路

○「道の駅」第3ステージ*の推進

「道の駅」の防災機能強化やポストコロナに向けたニューノーマルへの対応、地域センター化に向けた取組など、あらゆる世代が活躍する地域の拠点機能を強化し、官民の力を合わせて更なる地方創生を推進します。



防災機能強化の例：防災訓練（スタープラザ声別）

*第1ステージ（平成5年～）は「通過する道路利用者のサービス提供の場」を推進
第2ステージ（平成25年～）は「道の駅自体が目的地」というコンセプト取組を推進
第3ステージ（令和2年～令和7年）では、「地方創成観光を加速する拠点」を推進

2.世界水準の観光地の形成

○ドライブ観光の推進

安全で快適なドライブを支える道路や道の駅の整備、ポストコロナにおけるインバウンド回復を見据え、観光地案内や多言語による道路情報提供の充実、公共交通との連携強化等の取組を推進します。
持続可能な観光地域づくりに向け、国内に類を見ない雄大な自然等を活かしたドライブ観光と「ゼロカーボン北海道」の両立を目指します。



道の駅整備 観光案内所設置



道路標識での観光地案内

○「シーニックバイウェイ北海道」の推進

地域資源を最大限に活用した美しい景観づくり・活力ある地域づくり・魅力ある観光空間づくりを行い「支笏洞爺ニセコルート」「札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート」「空知シーニックバイウェイ体感未来道」（候補ルート）と協働した取組を推進します。

また「世界水準」の観光地形成に向け、地域と道路管理者との協働で、特に魅力的な区間について景観の維持・形成、情報発信を重点的に推進する取組であるシーニックバイウェイ「秀逸な道」をより一層推進します。



「秀逸な道」（支笏洞爺ニセコルート）



「秀逸な道」（札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート）

○サイクルツーリズムの推進

北海道開発局及び北海道では、サイクルツーリズムを推進するため、石狩・空知・上川地域の全長約333kmに及び「石狩川流域圏ルート」、石狩・留萌地域の全長約290kmに及び「石狩北部・増毛サイクルルート」において、案内看板や路面表示の設置等安全で快適な自転車走行環境の整備・改善に取り組んでいます。引き続き、自転車利用環境の充実を図るとともに、世界水準のサイクリング環境に向けて、官民連携による持続的な体制構築を図るなどの取組を推進します。



石狩北部・増毛サイクルルート（望来ビュー）

サイクルツーリズムに関する詳細は右の二次元コードよりご覧いただけます。
コミュニケーションWebサイト「サイクル北海道」
<https://cycle-hokkaido.jp>



3.強靱で持続可能な国土の形成

○災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化

災害からの迅速な復旧と、早期の日常生活・経済活動の再開を図るため、災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築や防災・減災対策を推進するとともに「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策（令和2年12月閣議決定）」を踏まえ、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（北海道ブロック版）」を令和3年4月に策定し、防災・減災、国土強靱化の取り組みを重点的かつ集中的に推進します。また、各種インフラ施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。



土砂災害防止対策（斜面対策の整備（石狩市））

○冬期交通の確保

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、雪処理施設の整備、大雪・暴風雪時の対策等を推進します。



除雪作業の状況

国道 高規格道路の異常気象・災害・事故等による通行止め情報等を発信します。
https://twitter.com/hkd_mlirt_roadsp



○防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、低コスト技術を積極的に導入しつつ、無電柱化推進計画に基づき、各道路管理者・関係事業者の連携の下、新設電柱の抑制及び無電柱化のスピードアップを図ります。



【整備前】国道12号 江別市



【整備後】国道12号 江別市

○交通安全対策の推進

事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」*を推進します。また、通学路における安全対策においては、令和3年6月に千葉県八街市で発生した事故を受けて実施した通学路合同点検の結果に基づき、対策を推進します。



通学路における交通安全対策（防護柵設置）

*事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組

●令和5年度 主な道路事業の概要

◎は令和5年度新規事業化

国道名	事務所	主要事業
5号	札幌道路事務所	創成川通、◎札幌駅交通ターミナル整備、◎新川交差点改良
12号	札幌道路事務所	道通札幌環状橋交差点改良、◎道通江別恵庭線交差点改良、菊水電線共同溝、白石中央電線共同溝、白石本通第二電線共同溝、厚別中央電線共同溝、江別野幌第二電線共同溝
	岩見沢道路事務所	峰延道路、◎町道16号線交差点改良、砂川電線共同溝
	滝川道路事務所	江部乙付加線整備
36号	深川道路事務所	稲田付加線整備
	札幌道路事務所	◎平岡3号線交差点改良
38号	札幌道路事務所	千歳道路改良
230号	札幌道路事務所	◎北栄路改良
233号	札幌道路事務所	◎道通沼田妹背線交差点改良
	深川道路事務所	◎北光町交差点改良、◎道通沼田妹背線交差点改良
234号	札幌道路事務所	道通朝日桜五線交差点改良、◎町道古川東西線交差点改良
274号	札幌道路事務所	◎東2線南交差点改良
275号	札幌道路事務所	江別北道路【令和5年度全面開通予定】、道道岩見沢石狩線交差点改良、月形交差点改良
337号	札幌道路事務所	道央圏連絡道路「中樹林道路」【令和6年度全面開通予定】、「長沼南幌道路」
	札幌道路事務所	◎梅川中央通交差点改良
	千歳道路事務所	南幌路改良
451号	滝川道路事務所	◎市道路南通交差点改良
452号	岩見沢道路事務所	盤の沢道路、桂沢ダム関連
453号	札幌道路事務所	◎石山東2交差点改良

積雪寒冷地におけるインフラ分野のDX及びi-Constructionの推進

積雪寒冷地である北海道特有の気象や構造物特性等を踏まえたインフラ分野のDX*1を推進するとともに、建設現場での効率化・省力化に向けICTの全面的な活用など、i-Construction*2を推進します。

- *1 インフラ分野のDX：データとデジタル技術を活用して、社会資本や公共サービス、組織の文化・風土、働き方を変革すること
- *2 i-Construction：ICTの全面的な活用を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図る取り組み

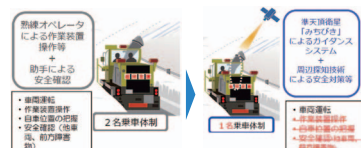
北海道開発局ホームページ

<https://www.hkd.mlitt.go.jp/ky/jg/gijyutu/splaat000010dmm.html>

～除雪機械の熟練オペレータの減少等、除雪を取り巻く課題の解決のため、産学官民が連携したプラットフォーム「i-Snow」による取り組みを推進します～

ロータリ除雪車投雪作業自動化

⇒プロフェット装置による投雪をより細かく自動制御
⇒人が周辺に近づいた場合にアラーム等で警告するシステム



吹雪時の映像鮮明化技術の検証

⇒吹雪による視程障害発生区間において、映像処理後の鮮明度や走行速度の違いによるタイムラグ等を検証

